

心不全、特に左室駆出率の保たれた心不全 (HFpEF) における心筋生検の意義

#### ◆ 研究の対象となる方

2014年4月から2025年7月までに済生会福岡総合病院において心筋生検を受けられた方

#### ◆ 目的・方法

心筋生検は、カテーテルを用いて心臓の組織を採取し顕微鏡的に調べる方法で、心筋症や心筋炎などの心臓の筋肉が障害される疾患の鑑別に用いられます。近年、とくに高齢者に多い左室駆出率の保たれた心不全 (HFpEF) が重視されていますが、臨床的にも診断が難しい病型です。しかし、このような HFpEF の中にはトランスサイレチン型アミロイドーシスのように特異的な治療薬の効果が期待されるものがあり、対症療法に留めず、病因精査を行うことの重要性が指摘されています。本研究は過去約 10 年間の心筋生検の対象症例の推移を振り返りながら、心不全、特に HFpEF の症例の診断における心筋生検の意義を検証し、今後、どのような患者様に検査をお勧めすべきか、適応となる病態をより明らかにすることを目的としています。

#### ◆ 研究に使用する情報

心筋生検を受けられた患者様の年齢、性別、生化学検査値(特に BNP, NT-proBNP などの心不全マーカーや心筋傷害のマーカーとなるトロポニン値など)、心臓超音波検査による左室駆出率等の心機能指標、心筋生検の組織所見など既に診療の中で得られた過去の情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

#### ◆ 個人情報の取り扱い

本研究の成果は学会等での公表を予定しておりますが、個人が特定されないよう加工した情報を用いますので、プライバシーは守られます。また、本研究以外の目的で使用することはありません。

#### ◆ 研究への協力について

診療情報等が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先	福岡県済生会福岡総合病院 病理診断科 加藤誠也 住所:福岡市中央区天神 1-3-46 電話:092-771-8151(代表)
--------	---

以上